

ラムシルマブ Ramucirumab

●サイラムザ(イーライリリー)

点滴静注液：100mg(10mL),

500mg(50mL),pH:5.7~6.3.

投与速度は25mg/分を超えない。

【警告】a.緊急時に十分に対応できる医療施設で経験十分な専門医に限る。
b.患者・家族に十分説明し承認を得る。
c.投与時次に注意死亡例,再投与禁：
心筋梗塞,脳血管障害等の
重篤な動脈血栓塞栓症,
重度消化管出血,消化管穿孔

【特】a.VEGFR-2抗体

→強力な血管新生阻害,抗腫瘍。

b.胃癌：全生存期間

パクリタキセルと併用9.6ヵ月

単独投与 5.2ヵ月

パクリタキセル 7.4ヵ月

プラセボ 3.8ヵ月

【効】a.切除不能な進行・再発の胃癌

b.術後補助療法,一次療法は未承認。

【用】a.8mg/kgを60分で点滴。

適宜減量,2週間に1回

b.パクリタキセル以外と併用しない。

c.点滴時反応軽減のため抗ヒ剤

(ジフェンヒドรามミン等)を前投与

・グレード1,2発生時：

投与速度を50%減速,以降も減速。

次回から必ず抗ヒ剤を前投与し,

以後もグレード1,2の時は,抗ヒ剤に

加えアセトアミノフェン等及び

デキサメタゾン等を前投与。

・グレード3,4の場合→直ちに中止

→再投与禁。

d.高血圧又は蛋白尿：定期的に検査。

中止,休薬,減量→添付文書。

降圧薬投与。

高血圧症の悪化に注意。

【体内動態】半減期は183時間。

【禁】妊婦,妊娠可能婦人。

【慎】1.血栓塞栓症又はその既往

→心筋梗塞,脳血管障害,肺塞栓症等。

2.消化管等腹腔内の炎症を合併時

→消化管穿孔。

3.出血素因や凝固系異常又は

抗凝固薬使用時→出血。

4.消化管出血等の出血→出血増強。

5.大きな手術創治療前

→創傷治癒障害による合併症。

6.重度肝障害→悪化。

【注】手術前に投与を中断する。

・手術,創傷の治癒を確認後に投与。

【患】授乳中止。

【副】：%はパクリタキセル併用時

A.重大：a.点滴時反応5%,

b.動脈血栓塞栓1.8%,静脈血栓塞栓4%,

c.消化管穿孔1.2%,d.出血41%,

f.好中球減(54%),白血球減33%,

g.うっ血性心不全2%,

h.創傷治癒障害,i.穿孔0.4%

j.白質脳症症候群。

D.(パクリタキセルと併用時)

●血小板減13%,●下痢32%,●腹痛

30%,●口内炎19%,●AST↑8%,●

ALT↑6%●高血圧23%,QT延長,●呼

吸困難12%,●低アルブミン血症9%,

●低Na血症5%,●蛋白尿16%,血中ク

レアチニン↑,敗血症,●発疹10%,●皮

膚乾燥7%潮紅,ざ瘡様皮膚炎,●疲労

39%,●無力症21%,●末梢性浮腫25%,

●頭痛9%,●発熱18%,眼瞼浮腫,顔面

浮腫。